



## 社会が求める情報セキュリティ人材を育てる 最先端の実習環境のもと 経験豊富な講師陣による教育を実践。

情報システム学部 情報セキュリティ学科 学科長 小林 信博 教授

早稲田大学理工学部卒業、静岡大学創造科学技術大学院にて学位取得 博士(工学)。1990年より企業の研究所にて情報セキュリティの研究開発に従事した後、内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)を経て2019年より現職。主な研究領域は、制御システムセキュリティ。



私たちの暮らしはインターネットやITのお陰で、便利で豊かになりました。今後はAIや量子コンピュータなどの活用でさらなる進化が期待される一方、その安全性を脅かすサイバー攻撃などのリスクも高まっています。その脅威に対策を施すことで被害を最小限に抑え、社会の安全・安心を保つために欠かせないのが情報セキュリティ。その中核を担う高度情報人材に対する社会的ニーズは高まるばかりです。本学科では、学术界の出身者と、企業経験を有する実務家からなる多彩な教授陣が連携し、情報セキュリティ全般を深く幅広く網羅する講義や、情報科学やプログラミングを基礎からしっかり学べるカリキュラムを展開。身につけた知識とスキルを証明するために、卒業までに2つの国家資

格「ITパスポート試験(国)」(基礎レベル)と「情報セキュリティマネジメント試験(国)」(専門レベル)の取得も目指します。その結果、初めて卒業生を輩出した2020年3月以降、毎年就職率100%を達成(2023年3月卒業生、就職希望者33名、全員就職)。卒業生は大手企業やセキュリティ関連企業はもちろん、東証上場企業、テック系ベンチャー企業、官公庁などで活躍中です。2023年4月には「情報セキュリティ産学共同研究センター」が完成。サイバーセキュリティ対策の実践力を養うとともに、インターンシップや産学共同研究など現役セキュリティ人材との共創体験も可能となりました。これからの社会の安全・安心の確保に貢献したいと考えるみなさん、ここで共に学びましょう。

### 2023年春、「情報セキュリティ産学共同研究センター」始動

「情報セキュリティ産学共同研究センター」(愛称:NAGASAKIセキュリティベース)は企業と学生の交流や共同研究による実践教育を可能にする産学連携の拠点です。安全な仮想環境を利用した攻撃・防御の演習や、インターネット上で実際に行われている攻撃の観測が可能な大規模な「情報セキュリティ演習室」や、企業が入居する「共同ラボ」を設置。インターンシップや産学共同研究による共創体験を通して情報セキュリティ分野のトップランナーを育成します。

共同ラボ  
入居企業

- 株式会社網屋
- 大成建設株式会社
- 株式会社エヌ・エフ・ラボラトリーズ
- 株式会社ラック
- 株式会社島津製作所

